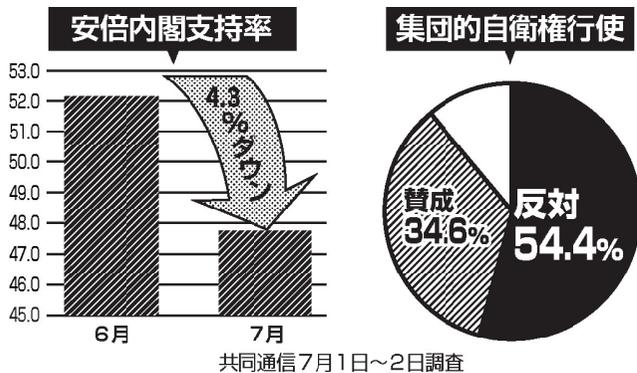


「戦争する国づくり」は ぜったいダメ! 憲法違反の閣議決定は撤回を

署名に行列、デモが各地で 世論調査でも支持率急落

集団的自衛権行使を認めた「閣議決定」の撤回、「安倍政権打倒」の声と運動が全国各地で急速に盛り上がっています。署名には行列ができ、デモ行進はスタート時からどんどん参加者がふくれあがるなど、大きな変化が生まれています。

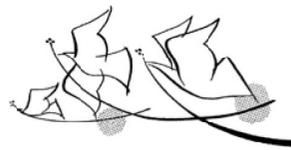
共同通信社が実施した緊急世論調査によると、安倍内閣の支持率は47.8%、前回6月から4.3%下落し、不支持率は40.6%と第2次安倍政権としては初の40%台に上昇しています。「行使容認」への反対は54.4%で過半数を超え、賛成は34.6%と国民の意思は明確です。



「新3要件」は歯止めにならない! 政府の判断で戦争に参加

憲法9条は、集団的自衛権の行使・海外での武力行使を認めていません。しかし安倍首相は「閣議決定」で憲法解釈変更を強行、自衛権発動の「新3要件」を盛り込み、日本への武力攻撃がなくても武力行使を可能とする歴史的な大転換を図りました。

安倍首相は、日本の存立に「明白な危険」がある場合に



9日の日は、平和を語る日に

毎月9日は9条にちなんで、「憲法9条守れ」の行動が全国的に行われています。9月9日はダブル9で大規模なとりくみが予定されています。

また、「九条の会」は、憲法9条を守るための行動の強化をよびかけ、閣議決定の撤回を求め全国各地で宣伝・署名行動にもとりくんでいます。ぜひ署名にご協力ください。

9条に
乾杯!

9月9日

は全国各地で
様々な行動が
予定

限定すると言っていますが、「石油供給の安定」など経済的問題も理由に武力攻撃の可能性もあること、また、岸田外相は「日米同盟は国民の命を守るために必要」と、アメリカから要請されれば自衛隊を派遣することを示唆するなど、政府の判断で拡大解釈されかねません。「新3要件」は「歯止め」どころか日本を戦争にまきこむものです。

集団的自衛権 閣議決定強行

青年の反対急増



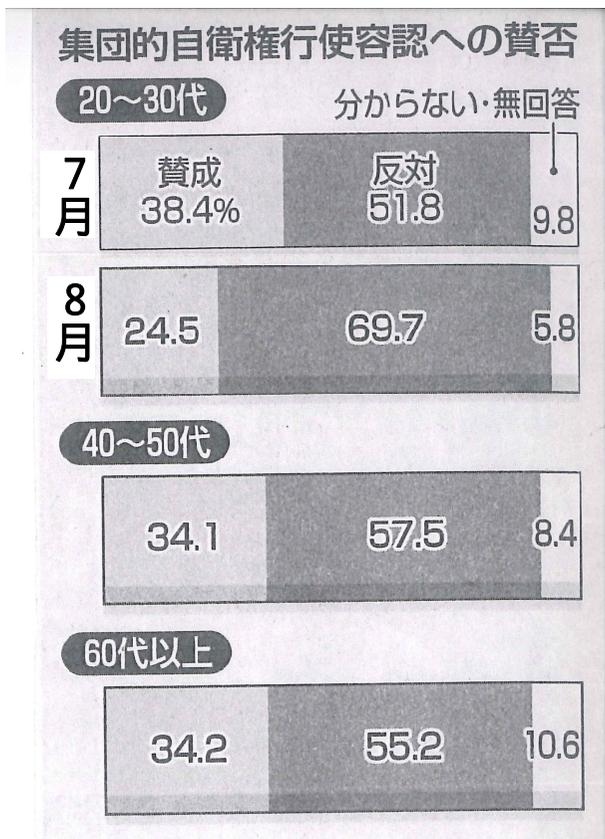
戦争する国

国民世論で阻止できる

「海外で戦争する国はイヤダ」「子どもや孫を戦場に出すわけにはいかない」…7月1日の「閣議決定」を境に、世論が激変しています。この間発表された各種世論調査によると安倍内閣の支持率は相次いで急落。10%以上の下落の調査もあるなど、5割を切る事態となっています。（表面参照）

「集団的自衛権容認の閣議決定」の撤回を求める行動は全国で途切れることなく広がっています。

閣議決定だけでは、自衛隊員を海外の戦地に送ることはできません。様々な法律の改定が必要です。「集団的自衛権行使」反対の世論を大きく広げて「戦争する国づくり」をストップさせましょう。



（共同通信調査より：「京都新聞」）

潮目が変わった！



自公敗北

滋賀県知事選挙

集団的自衛権の行使容認の閣議決定後、大きな選挙として注目を集めた滋賀県知事選挙（7月3日投票）は、自民・公明が推薦する候補が敗北する結果となりました。「安定」と言われた自公候補へ

の風向きが変わったのは、7月1日の集団的自衛権の閣議決定強行。有権者の反応が一変。自民は200人の国会議員をつぎ込みました。が、滋賀県民は「戦争する国づくり」の審判を下しました。